

# ふみびと

第221号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 人とのつながり 不思議な力

### 当たり前前な日々の中

「いつもと変わらない毎日」

一見するとまるで退屈な日常のように感じる言葉。でもそれは実はとても幸せでありがたいことなんだと感じます。

いつもと同じように家族と話したり、いつもと同じように仕事をしたり。元気にただいつも通りのことができるというのは、実はそれだけで奇跡的なことなのかもしれません。先日の朝、突然かっ

一際寒い冬の日の朝。首を縮め、顔をしかめ、酷すぎる寒さに文句のひとつも言いたい気持ちで歩いていると、学校に向かうらしい小学生たちが「うわー寒いー！」と大きな声で笑い合っている。自分自身にもかつて寒すぎて笑ってしまった経験があるなと思う。

それは大抵、寒さを分かち合う誰かがいる時だ。ひとりでは辛いことも、誰かと共有すると、楽しさや笑いに変わってしまうことがある。あれはどうしてなんだろう。人とのつながりが持つ、不思議な

### 分かち合う

力だと思おう。そして、一緒に笑い合えることができる、その辛さがフツと軽くなる。それは笑いが持つ大きな力だ。ランドセルを背負う小学生たちの後ろ姿を見ながら、「ほんと寒いね」と呟き、微笑んでみる。頬を撫でていく北風が、ほんの少しだけ、柔らかな感じられる気がした。



てきた電話。伯父が車に轢かれて病院の集中治療室に運ばれたという一報が来たときは、考えたくはないけれど最悪の事態もよぎってしまいました。幸い一命は取り留めて、その後ようやく自分で歩けるくらいまで回復したのですが、お見舞いに行きた時に聞いた伯父の話によるとあと1メートル後ろにいたら命も危なかったのだとか。リハビリが必要になる

ほどの大怪我だったので、「生きていられるだけでありがたい」と何度も繰り返していました。体の自由すら奪われて、今まで当たり前だった毎日が当たり前でなくなつた時、ただ何事も無いことが幸せなんだと改めて感じたのだそうです。今日、元気でいられることが、いつも周りにいる人が今日もいてくれること。ただそれだけで。

**風にゆられて誰かに届け！  
風船便**

いつでも参加できますが、風船便の受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単「風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務返の筒に流す。局宛封下で今封下で交り

**風船便**

例えば実家に帰れば父と母が喜んで迎えてくれる。そんな日常も変わってしまう時がいつかきつと来ると思うと、今一緒に居られる一瞬一瞬がとても大事に感じられます。失ってしまったときに感じる当たり前の幸せ。それがいつも感じることできたら、「変わらない毎日」は素敵なものになるような気がします。「変わらないでいてくれる」そんな「今日」に。

**次回発送日**  
2月の発送日  
次回の発送は、通常通り（15日）です。送りたいお手紙がある場合には、13日までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもつてポストに投函してください。  
また、2月末分の発送については、暦の都合上、3月1日に変更となりますので、ご了承ください。

**言葉の冊子**  
毎年恒例の言葉の冊子「今年の目標」のご案内紙を同封しました。毎年たくさんの方に参加いただいている企画です。交流のきっかけとしてぜひご参加ください。

